

令和4年度 学力向上に係る効果的な取組事例

「教科等の目標を達成するための一人一台端末の効果的な活用について」 宮代町教育委員会

1 はじめに

本町で一人一台情報端末（Chromebook）を配備してから早くも2年が経とうとしている。本町では、Google workspace for education のアプリを中心に学習活動を展開し、各小中学校において児童生徒の実態に合わせた活用を進めてきている。また、令和元年度から「みらいスクールステーションメディアボックス」を導入しており、授業で使用する画像や資料を各教室に配備した50インチテレビ画面に提示することや、インターネットにつないで動画などを視聴することはもちろん、教員や児童生徒の端末の画面を必要に応じて共有しながら授業を進めることが日常化している。

今年度は昨年度からの取組を継続しつつ、PC 端末を教員が活用するだけでなく、児童生徒が主体的に活用することで、より効果的・効率的な基礎・基本の定着を図ったり、学習活動の円滑化・活性化を図ったりすることをねらいとして取組を進めてきた。宮代町教育委員会としては、ICT 研修会や学力向上検討委員会等で、各校の ICT 活用についての情報共有の場を設けるなど、町内全ての教職員が PC 端末を効果的に活用し、個別最適な学びが実現できるよう支援を行っている。

2 具体的な取組（特に活用しているアプリ）

Jamboard

おじいさんの言葉や4つのグラフから気になることは？

言葉			グラフ		
国からの援助が少なく、十分な金がない	お年寄りが少ない	この国は思えば以上に暮らしにくくなった	少子高齢化がとてつもなく進んでいる	全国的に人口が減っている	若者が少なくなっている
未来はなぜ暮らしにくいのか	年寄りがかりで大変	若いから不自由に感じない	10代未満の出生率が減っている	高齢者が多くなり、子供が少なくなっている	日本ではおじいさんやおばあさんが少なくなっている
近所づきまの生活を大切にしたい	お年寄りが多い	思えば以上に暮らしにくくなった	高齢者が増えた	若者は減っているのに、お年寄りは減っていない	おじいさんやおばあさんが少なくなっている
国はお金がない			45年後はお年寄りが多い		日本のおおきな問題はおじいさんやおばあさんが少なくなっている

Jamboard は、教科を問わず様々な「ツール」として汎用性が高く、活用しやすい。1時間の授業中の学習過程において、個人やグループで考えを広げたり深めたりする段階では思考ツールとして、グループや全体で意見を集約したり比較したりする段階では共有ツールとして、全体場で発表する段階では発表ツールとして活用することが可能である。

「思考ツール」として活用！

「共有ツール」として活用！

「発表ツール」として活用！



Forms は、授業中でも児童生徒の回答結果を即時集計し、グラフで表示することができる。

Forms

話し合いを終えて

Q1 話し合った後のあなたの立場はどちらですか？

賛成

反対

Q2 賛成を強く理由は何かですか？



集計結果の即時表示が可能！

スライド



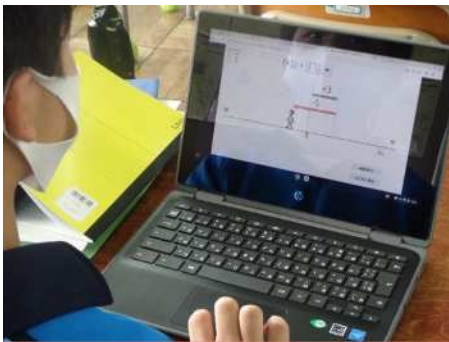
スライドは、各教科や総合的な学習の時間などで児童生徒が各自で調べたり考えたりしたことをまとめて発表する際のツールとして主に活用している。機能がシンプルであるため扱いやすく、必要な情報の収集、スライド作成、まとめた内容の発表などの活動を通して、情報活用能力の育成を図っている。



「発表ツール」として活用！



情報活用能力の育成！



【その他のアプリ等】
カメラ
ラインズ e ライブラリ
キーボードアドベンチャー
デジタル教科書



カメラ…自分のスピーチや実技等の練習を録画したのを見直して練習に生かす。
ラインズ e ライブラリ…単元確認テストで理解度の確認後、自動個別課題で個々の弱点克服に生かす。
キーボードアドベンチャー…隙間時間などでタイピングの練習をする。
デジタル教科書…QRコードで動画を見たり、音声を聞き直したり、自分の理解度に応じて活用する。



個々の実態やニーズに応じた「個別最適な学び」で学習方略を伸ばす！！

3 活用についての課題等

- 小学校と中学校で活用状況が異なるため、発達段階を考慮しつつ、小学校で獲得したスキルを中学校で生かせるように学校間の連携を強化する必要がある。
- PC 端末を効果的に活用する場面を取捨選択し実践することを通して、従来の取組と比べて学力向上につながっているかどうかの検証を行う必要がある。

4 おわりに

本町では児童・生徒の学びに寄り沿った PC 端末の効果的な活用について研究を進めたことで、主体的に学習に取り組む児童生徒が多くなっている。また、個人から集団まで様々な学習形態で思考を深めるツールとして活用できている。一方で、活用していく中で情報モラル教育やこれまでの教育形態との融合や棲み分け等、様々な課題も明らかになってきている。今後も、先進校の取組等を参考にしながら、一人一台端末のさらなる効果的な活用に向けた研究を進め、学力向上に努めていく。